



さんの住む家は快適ですか？実は、日本では冬の居住環境が「寒い」ケースが多いといわれています。これは、住宅自体の構造的な問題もありますが、伝統的に囲炉裏やこたつのように「暖を探る」手法が好まれてきた背景があり、家全体を暖める発想ではなかったことが関係しています。しかし家の中に極度な温度差があると、ヒートショックと呼ばれる健康被害を招く危険があります。「少ないエネルギーで健康な居住環境を工学的に創造すること」これが私の研究の基本となるところです。

通常は快適性を追求すると多くのエネルギーが必要になります。コロナ禍で換気のために窓を開ける機会が増えましたが、室内が寒く／暑くなるため、結果的に空調の利用が多くなってしまったことを実感したかもしれません。今行っている研究の一つに、エネルギーを増やさずに換気量を増やす) 驩 軋い E 井